

タイトル：黒河口女人堂跡

黒河口女人堂の正確な場所については、今ではよく分からなくなりましたが、女人堂はかつてこの女人道の沿道にありました。女人道の大部分が舗装のないハイキング用の登山道として保存されていますが、女人道のこの部分は、今では高野山の一部を通る舗装道路となっています。これらの道は、明治時代（1868-1912）に、高野山の聖なる谷間が、女性の参拝者にも開放された後に整備されたものです。もともと、巡礼路を歩く旅人たちは、8カ所の女人堂のいずれかで足を止め、休憩したり一夜を過ごしたりしていました。女人堂という名称ですが、男性も女性も、宗教的な旅人も、世俗の旅人もこれらの堂を使っていました。

女人道は、この場所から北西に向かい、高野三山と呼ばれる転軸山、楊柳山、摩尼山の霊峰を巡る巡回路になっています。高野三山は弘法大師が奥之院で行っている永遠の瞑想を警護していると言われています。女人道はこれらの山々を縫うようにして設けられていますが、それは宗教的な目的のためであると同時に、奥之院の聖なる墓所を通り抜けることを避けるためでもありました。不動坂口女人堂と聖山の弁天岳は、高野三山とは反対の方角に位置していて、女人道を西に向かって少し歩いたところにあります。